



coração

* coração:意味は「こころ」です

憩の園在日協力会のミニコミ誌です。在日協力会は日本から日系老人ホーム「憩の園」を支援しています。連絡先は6ページの「編集後記」をご覧ください。

憩の園、社会貢献者として表彰

2018年11月26日(月) 帝国ホテル孔雀の間で社会貢献支援財団による社会貢献者の表彰式が行われ、憩の園から相田祐弘常務理事が列席されました。今回は社会貢献で9人と23団体、人命救助で7人と1グループが表彰されました。

この財団は、国の内外を問わず、社会の平和と幸福のために貢献し、顕著な功績を挙げながら社会的に報われることの少なかった方々を表彰します。そしてその功績に感謝することによってより良い社会を創ることを目指します。

では、どのような方が表彰の対象となるのでしょうか？一つは社会貢献の功績に対してであり、もう一つは人命救助の功績に対してです。社会貢献は困難な状況の中で他に尽くされた方、黙々と努力して社会と人のために尽くされた方、ボランティア精神に則った活動により社会に尽くされた方、自然環境の保全などに尽くされた方々が対象です。一方、人命救助は身命の危険を冒して救助に尽くされた方、犯罪等の解決に協力された方、災害、事故、犯罪の発生を未然に防いだ方々が対象です。

社会貢献者としての表彰には自他による推薦が必要です。憩の園は、認定NPO法人NGOブラジル人労働者支援センターの推薦により表彰されました。この法人は、労働者として主にブラジルや中南米から来日した日系人を対象に職場や生活の諸問題を解決するための支援活動を2003年から行っています。スタッフは、在学中「早稲田大学海外移住研究会」に所属し、中南米へ移住した経験のあるOB、約20人が中心となって活動されています。当NPO法人も社会貢献者として表彰されました。

他にブラジル在住で表彰されたのは、森口エミリオ秀幸氏です。日系人医師で親子3代にわたり、ブラジルで言葉の壁から病院に通うことができない日系移住者を支え続けています。氏の活動は現地の日系移住者の命綱になっていますが、運用資金の多くを自己負担でまかなっていますので厳しい状況が続いているとのこと。

12月2日 相田ご夫妻(前列中央)を囲んで在日協の委員と監査が全員集まりました



《お母さんの思い出》

—もり せい—

私の母は京都出身でした。父は京都の隣の滋賀県の農家の出身でした。京都は美人が多いと言われるが、母はどっちかと云えば普通以下の器量であったが、父は美男子であった。二人がどのように結ばれたかは、聞き忘れた。

父は、若い時から西洋料理店に住み込み、西洋料理の修行をし、私達が幼い頃、カレーライスやオムライスの珍しい頃に、大阪の街に西洋レストランを開いていたが、店は大変繁盛していた。母はレストランでは料理を作らなかったが、お店に来てくれる、お客さんの接待や、集金に目の回るように働いていた事を思い出します。

弟が3人いた。私は一人娘で、船場のいとはんと言われた。

私の時代は女は家の中で家事ができればそれでいいという男尊女卑の時代であったが、母も父も教育には理解があり女の私に女学校へ行かしてくれ教育を付けてくれたのには心から感謝している。母は七十代の頃、病気で無くなったようだが、記憶は定かではない。両親に健康な体を貰ったからこそ、私は両親より元気で長生きしている。「本当にありがたい事です。」

《再生記》

(一)

独り 陋巷(ろうこう)にひそんでいたのを
心ある人に伴われ「憩の園」におさまった
人呼んで“ブラジルの小野田さん”

折れた眼鏡の柄を 細い紐で補い
どんなに暑い日でも
よれよれになった黒い上衣をキチンと着込み
半白の髭をイギリス紳士のように刈り揃え
決して人に笑顔を向けぬ
その丈夫振り

夜だけは 皆と主に 大きな屋根の下で眠るが
朝が来ると
近くの自然林の中にガラクタを集めて作った小屋の土間で
一人手足をのばす。

日に三度の食事の時間は
樹の間の太陽を拳を立てて測定しては下山する
季節々々の日の延び縮みを計算に入れ
五分と違わぬ正確さ。それはそれでいいとしても
絶対に他の者と交わろうとしない。

園の人々はやさしく話しかけ
心を開かせ皆と解け合うようにつとめたが 応えなく
一年たち、二年たち、三年たち 十年近くが過ぎ去った——。
多くの人が逝き
多くの人が来たが
われ関せず焉、と彼は自分のペースを守り通した。

(二)

その“小野田さん”が或る日 終に投降した
動機の手引きは



その“小野田さん”が或る日 終に投降した
動機の手引きは

日本から海を渡ってブラジルの日系コロニアに上陸した
ゲートボールの小さな鉄棒の門——。

仲間たちが庭先でゲームに興じているのを ちらっと横目で見ては
己のこもる山に帰っていった、

或る日の午後

園のシスターに勧められて ふっとスティックを手に持った——

打った球はコロコロところがり

前方に立てられた二十二センチ幅の小さな門をすうーと

通り抜けた——

一瞬

恥ずかしそうに見せた笑顔

それを起点として

第二の“小野田さん”が誕生した——

翌日

ゲームの始まる時間になった時

人々の後から顔をのぞかせている姿を見つけると

そっと近よって

上着を脱いだ方がスティックが楽に振れますよ

と話しかけた——

目をふせたまま

一つのボタンをはずし

しばらく考えていて、二つ目をはずした。

ゲームを終えて

汗をながすシャワーも素直に浴びるようになった——。

(三)

カン——と音がする

どっと歓声があがる

静かだったホームに活気流れ

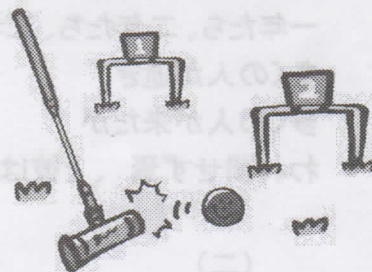
“小野田さん”の瞳の中にも和やかな光が萌ざしてきた

青い樹々の茂る山は小鳥達にかえて

“小野田さん”が人間の世界にもどってくる日も

もうすぐだ、

あの狭い門をくぐったボールのように……。



憩の園を訪問しました

2018年8月、運営委員のト部佐世氏と監査の石原みち子氏は憩の園を訪問しました。ト部氏は身内の入園者を訪ねるため、今回で3回目の訪問でした。石原氏は12年前に憩の園を訪問しましたので今回は2回目です。

石原氏はかつぼれと詩吟を披露し、入園者は楽しいひと時を過ごしました。詩吟は乃木希典の「神州」でしたが、この「神州」をご存知の入園者がいらっしゃってとても喜ばれたそうです。

今回の訪伯で二氏は、日本・ラテンアメリカ婦人協会主催のチャリティバザーで憩の園在日協力会定番のふきんの仕入れに出掛けました。日本式に言うと問屋のように大きなお店に実に多くのふきんが山積みされ、柄は目移りする程豊富です。ブラジル人が好む派手で少々漫画チックなものは日本ではあまり人気がありません。二氏は売れそうな柄をうず高く積まれたふきんの中から探し出して購入しました。おかげで、秋のバザーではとても好評でした。

ブラジルがもっと近ければもう少し頻繁に行き来ができるのと思いますが、また訪問したいとの声も聞こえてきますので、このような機会がまたあるかもしれません。



「街角の子猫ちゃん」

今やブラジルでも人気爆発中のキティちゃんです。模造品もよく見かけ、不出来なものにもほほえましい程度に思って目をつぶってきたのですが、これには…脱力。似せようという気がまるで感じられません。すべて手縫いの刺繍?と思いきや、布用の特殊ペンで絵を描いただけの代物です。熊だか猫だかすらも判別のつかない生き物に堂々とエモ。
「*Stylin*」を名乗らせるずうずうしさに至っては、キティちゃんへの冒瀆とも受け取れます。とか何とか言っていますが、怒っているわけではないのです。その売る側のたくましさ、かわいらしさに一本やられてしまい、しかたないなあと笑みがこぼれます。
ちなみに値段は7リアル。ニセモノとはいえ手作りですから世界にひとつしかない品であることには間違いないですね。

「自然と文化の情報誌 ブンバ」より

憩の園在園者の俳句

中原田かちよ

- ◎ 編みものの糸も揃えて冬支度
- ◎ 未だ少し寒き屋内レース編む
- ◎ 編針持つ手に汗にじむ暑さかな
- ◎ ご無沙汰を心で詫びつ毛糸編む
- ◎ 毛糸編む人のやさしき手の動き



【編集後記】NGO ブラジル人労働者支援センターが憩の園を推薦して下さったおかげで、憩の園の相田常務理事が社会貢献者表彰式典に列席するために来日され思わぬ再会になりました。大浦顧問の「再生記」はいかがでしたか？ 実在の小野田寛郎さんはブラジルに住んでいらっしゃいましたが、憩の園にも小野田さんがいらっしゃったのですね。ユニークな入園者のお話を耳にしたことはありましたが、憩の園の小野田さんはゲートボールが機縁とは！「お母さんの思い出」のもりせいさんは文芸に秀でた方でした。バザー用ふきんの仕入れについて記しましたが、ブラジルのキティちゃんにも似た絵柄もあるおびたしい数の中から探し出すのは…お疲れさまでした。キティちゃんの値段は7リアルとありますが、今のレートでだいたい200円位です。中原田さんの俳句は編み物特集です。編み物が入園者さんに人気です。バザーで手編みの靴下をお買い求めになりましたか？(高橋)事務局：〒160-0023 新宿区西新宿 8-13-18-101 TEL/FAX 03-3361-5679
http://kcv-net.easymyweb.jp/member/brz_zainichikyo/default.asp